

CASE 1

飯島さん一家 移住歴: 3年4か月 → 埼玉町在住

妻は農業を始め、ユーカリ栽培を楽しくやっています。
隣近所から野菜のおすそわけも。

夫 紘一さん(会社員・39歳)

妻 千春さん(農業・36歳)

長男 千尋くん(12歳)

次男 千景くん(10歳)



神

奈川県藤沢市に住んでいたんですが、100坪ほどの広い土地を求めて、北上しながら探し続けてました。1年近くかけてたどり着いたのが埼玉県鳩山町だったんです。

条件面で言うと、都内まで通勤できるということ。今はバスと電車を乗り継いで大体2時間くらい。毎日座って通勤できるので、寝るか読書しながら過ごします。移住前はまったく座れなかったので、通勤中の負担が軽減されました。もう一つの条件は自然が豊かということ。2人の息子も自然に囲まれて暮らしていく、本当に素直になりました。子育ての環境が良いんです。ここの中水が全然違うので、妻の肌荒れも治りましたしね。

移住後は農地を借りて妻がユーカリ、

ペパーミント、ネギを栽培。僕はそのファームの手伝いもしています。ご近所から野菜をいただいたり、持ち寄りでバーベキューをしたり。食費は圧倒的に減りました。それに念願の薪ストーブを気兼ねなく使って、光熱費も軽減できます。休日の過ごし方も変わって農作業や、移住してからできた地元の友人と交流を深めています。

移住はゴールではなく、そこで何を始めるかが重要。地元の方としっかりコミュニケーションをとっていれば、いろんなことが見えてくるはずですよ。



移住者 インタビュー

～それぞれの埼玉物語～

埼玉に移住して充実の新しい生活を手に入れた
先輩家族たちの「埼玉物語」を
聞いてみた。



も

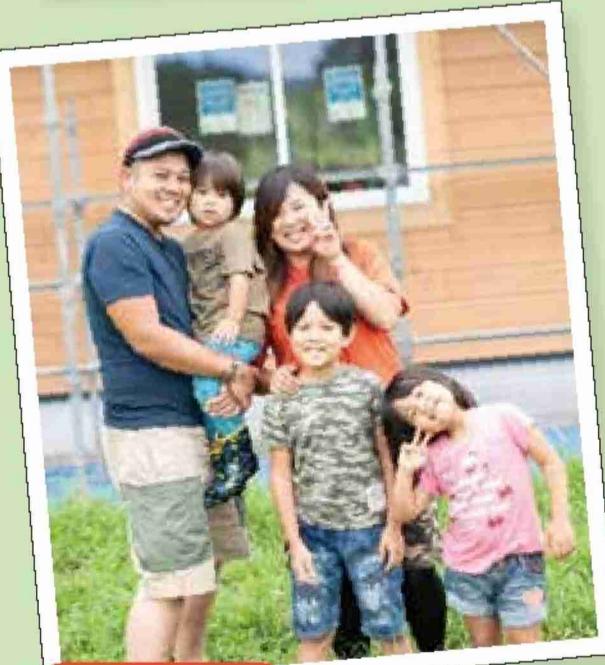
ともと年間30泊するほど
のキャンプ好き。だから、趣味
のアウトドアが楽しめる自然
豊かで広い家で子どもを育てたいとずつ
と思っていました。

5年ほど家を探していたんですが、なかなか見つからず、ある日飯能市が募集していた「農のある暮らし 飯能住まい」をネットで見つけて「これだ!」と。そこには僕がやりたかった生活のすべてが書いてありました。立川市の職場にも車で通える距離だし、もうここしかないと。翌日には市役所に相談に行ってましたね。地盤が強いかどうかとも土地選びの条件

の一つでした。都心には電車1本で行けるし、始発駅もある。入間市にいけば大型ショッピングモールもある。欠点を見つけるのが難しかったぐらいです。

市役所の人がバックアップしてくれて、芋ほり体験とか夏祭りに参加し、地元の人に誘われたカラオケ大会では尾崎豊を熱唱。交流の場がたくさんあります。今まで週末に3時間かけてキャンプ場に行つてたのが、今はバーベキュー場まで10分。いつでもキャンプが可能です。

子どもたちが自慢できる故郷を作つてやりたいんですよ。将来、孫を連れて帰つて来れるような田舎にしたいですね。



CASE 2

遠藤さん一家 移住歴: 1年6か月 → 飯能市在住

趣味のアウトドアができる自然豊かな場所に移住。
子どもたちが自慢できる故郷を作れると思いました。

夫 拓耶さん(会社員・32歳)

妻 望さん(保育士・30歳)

長男 春翔くん(8歳)

長女 美羽ちゃん(5歳)

次男 愛翔くん(3歳)

